

令和5年度(2023年度) 教科年間指導計画表

教 科	科 目	単位数	学 年
総合的な探究の時間	「人間と社会」	1	1

担当教員	1学年担任
------	-------

教科書	準教科書 「人間と社会」
副教材ほか	なし

指導の目標 ・留意点 評価の観点	自分自身の気持ちや経験について他者に伝わる表現方法を身につける。また、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 また、卒業後の進路について考えるにあたり、職業理解や上級学校への理解を深められるようにする。
------------------------	--

学期	単 元	主 要 項 目
一 学 期	オリエンテーション 学習習慣の確立 小論文模試 上級学校訪問	「人間と社会」について 活動の意義について理解する。 手帳の活用法を学び、見通しをもって学習できる 事前のワークブックを活用し、他者に伝わる表現方法を学び、社会への関心を向上させる 期末考査後の期間を利用し、クラス別で上級学校訪問をし、その後授業で事後報告を発表する。

<p>二 学 期</p>	<p>講演会(職業人インタビュー)</p> <p>「主権者としての自覚」</p>	<p>都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラムを活用し、様々な職種の方へ生徒がインタビューを行い、働くことの意義や職種を理解する。</p> <p>HR等を利用し、「主権者としての自覚」を取上げ、18歳選挙権の付与及び消費者としての自覚を持つことを理解する。</p>
<p>三 学 期</p>	<p>職業理解ガイダンス</p> <p>1年間の活動のまとめ</p>	<p>進路決定の一助とするために、将来就きたい職業について外部講師の説明を聴き、必要事項をワークシートにまとめる。</p> <p>一年間の体験活動や学習を振り返る</p>

令和5年度(2023年度) 教科年間指導計画表

教 科	科 目	単位数	学年
総合的な探究の時間	「総合的な探究の時間」	1	2

担当教員	2学年担任
------	-------

教科書	なし
副教材ほか	なし

指導の目標 ・留意点 評価の観点	生徒自らの進路実現に向かって、自己の課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に着け、探究に主体的・協働的に取り組むことにより、課題を一つでも解決することができるようにする。
------------------------	--

学期	単 元	主 要 項 目
一 学 期	個人探求 小論文学習振り返り 進路ガイダンス	<p>スタディサプリや進路ガイダンスを通じて、卒業後の進路についての情報を集め、自分の希望する進路について研究する。</p> <p>外部業者から添削・返却された小論文を見直し、PC教室や図書室で情報や資料を活用しながら書き直し、よりよいものを作成し、提出する。</p> <p>夏季休業中にオープンキャンパスに参加するにあたり、学校の情報について事前に調べ、ワークシートにまとめる。</p>

<p>二 学 期</p>	<p>グループ探求 進路別説明会 小論文模擬試験 模試の実施 グループ探求（広島） 2学期の反省</p>	<p>1学期の志望の進路についてのワークシートに、グループで新たな情報の交換、共有、整理、分析、まとめをし、ワークシートにまとめる。</p> <p>大学・短大・専門学校・就職別ブースを設け、外部講師の説明を聴いて、志望進路についての深い理解や疑問、気づきについてワークシートにまとめる。</p> <p>実際に小論文を書き、外部業者に提出する。 及びその振り返りを実施</p> <p>各自の進路に併せて模試を受験し、進路の指針とする。</p> <p>修学旅行グループ行動先の広島歴史についてPC教室や図書室で情報を収集、整理して模造紙にまとめる。</p> <p>2学期の反省及び冬季休業中の学習等の計画をワークシートにまとめる</p>
<p>三 学 期</p>	<p>分野別進路説明会 進路講話 1年間の反省 来年度の計画</p>	<p>希望進路について分野別に講師の説明を聴き、理解を深めると同時に、卒業生の受験期の過ごし方や入学・入社後の実話を聴き、3学年の高校生活について思考・整理・計画しワークシートにまとめる。</p> <p>1年間の反省と来年の計画を振り返りシートにまとめる。</p>

令和5年度(2023年度) 教科年間指導計画表

教 科	科 目	単位数	学 年
総合的な学習の時間	「総合的な学習の時間」	1	3

担当教員	3学年担任他
------	--------

教科書	なし
副教材ほか	なし

指導の目標 ・留意点 評価の観点	正しい職業観の醸成を促す。 自らの興味・関心や職業観に基づいた進路実現を目指す。 個々の進路実現に向かって、自己の課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に着させる。 職業観の醸成や自らの進路発見が困難な生徒について個別指導をおこなう。
------------------------	---

学期	単 元	主 要 項 目
— 学 期	進路探求の手順 小論文学習 分野別探求	全体説明会を通して、進路探求の手順の確認。1年間の進路活動の概要の理解。 総合型選抜、学校推薦型選抜、就職活動にあるいは社会人になってからの対応に備え外部講師の指導を通して、文章表現力を高める。 進路分野に分かれて、分野ごとの進路探求を図る。必要に応じて教員等との面談を行い、進路理解を深めてゆく。

<p style="text-align: center;">二 学 期</p>	<p>分野別探求</p> <p>模擬試験</p> <p>小論文指導</p> <p>面接指導</p> <p>個別指導</p>	<p>進路分野に分かれて、分野ごとの進路探求を図る。上級学校の資料を熟読する、OCに参加するなど、決定に向けて最終段階に入る。</p> <p>大学進学希望者を中心に模擬試験を通して、実力診断を行う。</p> <p>総合型選抜、学校推薦型選抜、就職活動に対応できる個別指導。</p> <p>総合型選抜、学校推薦型選抜、就職活動に対応できる個別指導。</p> <p>進路未確定者に対しての進路啓発、情報提供等の個別指導を行う。</p>
<p style="text-align: center;">三 学 期</p>	<p>個別指導</p>	<p>各生徒に応じた個別指導を中心に、個々の生徒の進路実現を目指す。 この一年間の活動の総括を行い、下級生に伝える機会を作る。</p>